

金融工学、業務の知見で金融高度化 に貢献する新日鉄ソリューションズ



新日鉄ソリューションズ株式会社
金融ソリューション事業本部 ソリューション企画推進部
グループリーダー 坪野松勇二氏
(聞き手 MSOG編集部)

MSOG

今年のGMSではリードスポンサーとして2つの講演と展示をされますが、テーマと狙いは？

坪野松)「漸近展開によるプライシングを中心にした高度数理統計理論の金融業務への応用」では、昨年から東京大学大学院数理科学研究科と最先端の数理統計学を金融実務で応用する目的で行っている共同研究の成果の一端をご紹介します。学術分野の研究成果と当社の持つ金融業務とシステムの知見を融合して具体的なソリューションとして実現させ、金融業務への効率化、高度化に貢献したいと考えています。「市場系取引 (CSA、現先、コール担保) 統合 担保管理システムのご紹介」と題する講演では、リーマンショック以降、カウンターパーティリスクの管理の強化が求められ、担保管理業務の水準が高まっている状況がありますので、取引規模の小さい地域金融機関でも事務負担の効率化に役立つソリューションをご紹介します。展示ではトレーディングリスク管理の分野においてカウンターパーティリスク管理、担保管理業務の高度化、効率化が求められているので、次世代トレーディング/リスクコントロールをサポートする分析システム基盤をお見せします。

MSOG

コンサルティング機能もグループ会社で提供されています

坪野松) 勘定系を扱っていないので、市場トレーディング、リスク管理や経営管理といったシステムをお客様としっかり向き合い、議論を重ねて作り上げるのが当社のスタイル。グループ全体では、より上流のビジネスコンサルティング機能も提供しているので、上流から下流まで一体的にサポートできる体制を整えており、強みになっています。

MSOG

受託開発、自社開発パッケージ、海外製ソリューションの位置づけは？

坪野松) 業務系システム分野ではメガバンクから地域金融機関まで顧客層が幅広く、ニーズも大きく異なるので、それぞれのお客様に合う最適なソリューションを、特定の形式や製品にこだわらず提供できるようにしています。あくまで顧客目線で、ベストなソリューションを選択できるように、新たな海外ソリューションの情報収集も積極的に行っています。

MSOG

海外での展開は

坪野松) 国際化の流れの中で金融も例外ではなく、大手を中心に改めて海外部門の強化がうたわれています。当社も米西海岸、シンガポールに拠点を持ち、NYにも開設予定で、国際部門の強化を図っている最中です。情報収集力強化に加えて、現地でのサポート力が求められる時代の到来に備える動きでもあります。また、海外留学制度なども含め、国際人材の育成にも以前から力を入れてきました。

MSOG

注力されている業態は？

坪野松) 業態に偏りなくソリューションを提供するのが当社の強みと考えており、各業態のニーズに合わせて対応していきます。中でも、保険業界への取り組みは強化したいと考えています。

MSOG

リテール分野でも提案をされています

坪野松) 銀行の中核業務の一つなので、力を入れています。しかし、伝統的業務であるため、既存のベンダーとの関係も深く、ここ数年のIT投資への慎重姿勢もあり、参入して日が浅い当社のソリューションの浸透にはある程度時間がかかりましたが、グループの金融エンジニアリング社との連携も軌道にのり、東北の銀行で審査システムの導入実績もできたので、今後の展開が楽しみになってきました。当社のモデルは従来の年収や勤務年数等の外形標準だけではなく、取引履歴も総合的に見て信用力を判断できる動態リスク管理を実現しているのが特徴です。また、単なる貸出審査だけでなく、その後のマーケティング活動を総合的サポートできるデータマートを実装していることも強みとなっています。

MSOG

金融IT業界の再編も進んでいます。貴社の戦略は？

坪野松) 総合的なシステムインテグレーターとして、社内にシステムの先端技術研究の専門部署やハード・ネットワーク等の基盤の専門部隊もいるので、システム構築に関して総合的なソリューションを提供できる体制を備えています。業務アプリケーションに留まらずプラスアルファを提供できるのもお客様に評価されている点です。業務知見や顧客とのコミュニケーション力に関しては自信を持っているので、規制動向に目を配り、適用時期は先送りになってしまいましたがIFRSへの取り組みの成功のように、他社に先行してソリューションを提案できるように努力を続けていきます。